

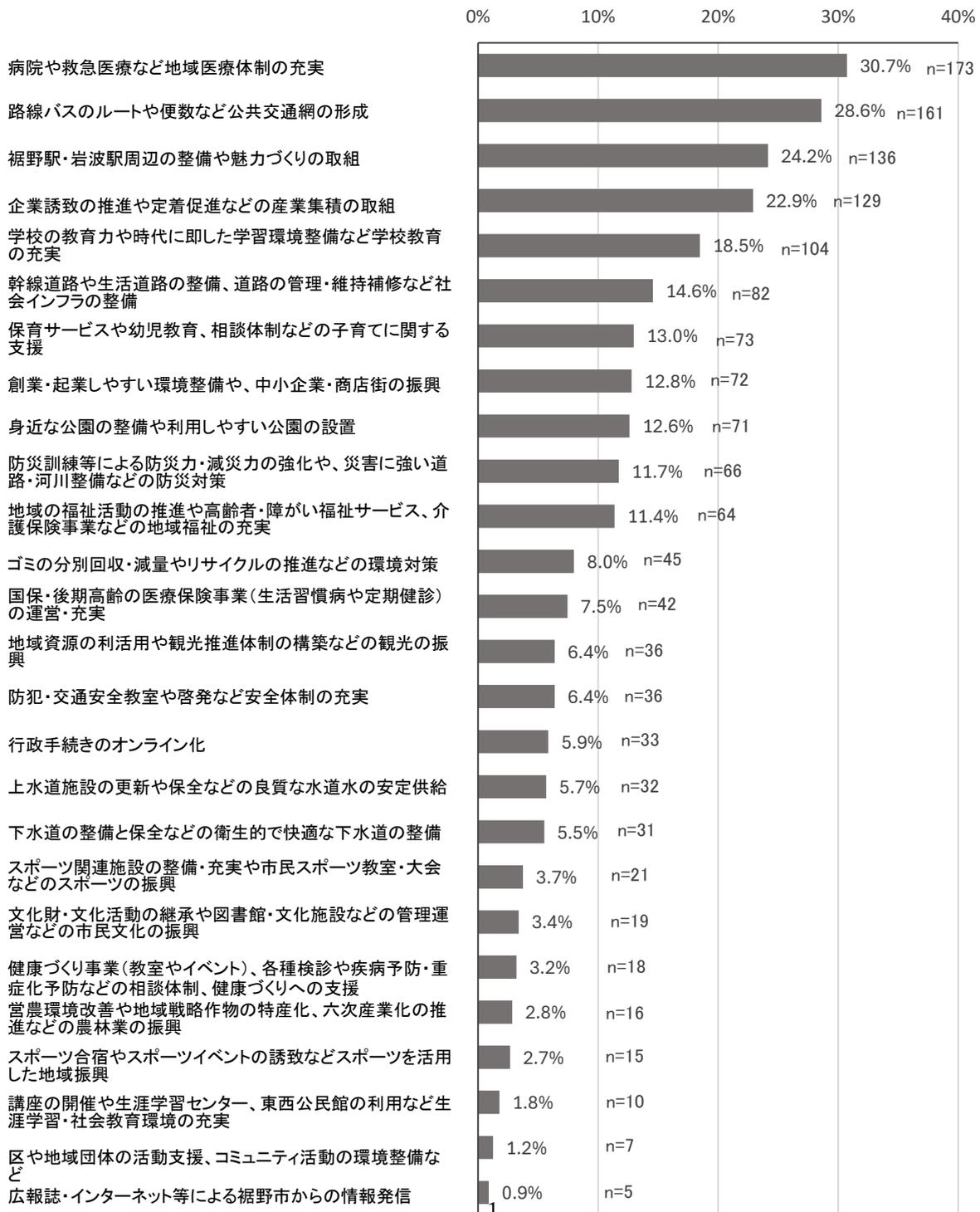
1 市民アンケート調査の結果

第5次裾野市総合計画 後期基本計画の策定にあたり、市内にお住まいの満18歳以上の方1,200人を無作為に選び、アンケート調査（回答数563票）を行いました。

(1) 裾野市が今後力をいれるべき取組だと思うこと（3つ選択）

最も割合が高いのが、「病院や救急医療など地域医療体制の充実」の30.7%であり、次いで「路線バスのルートや便数など公共交通網の形成」28.6%、「裾野駅・岩波駅周辺の整備や魅力づくりの取組」の24.2%、「企業誘致の推進や定着促進などの産業集積の取組」22.9%でした。

裾野市が今後力をいれるべき取組だと思うこと（3つ選択）



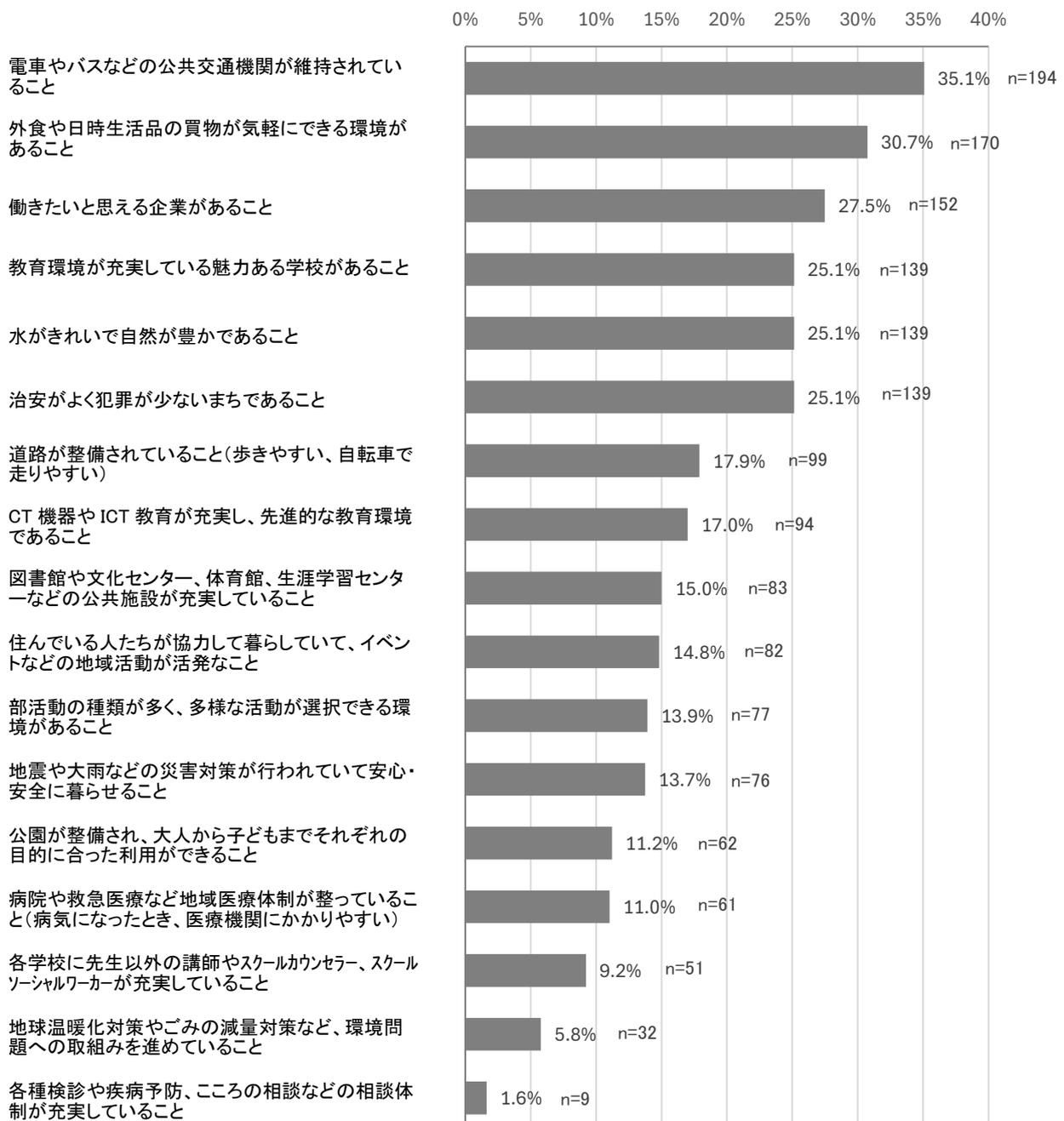
2 高校生アンケートの結果

静岡県立裾野高等学校及び不二聖心女子学院高等学校の生徒を対象として、進学や働き方に関する希望や、裾野市のまちづくりに関するアンケート調査(回答数 553 票)を行いました。

(1) 裾野市が魅力あるまちになるための必要な取組 (3つ選択)

「電車やバスなどの公共交通機関が維持されていること」35.1%や「外食や日時生活品の買物が気軽にできる環境があること」30.7%といった、日常生活の利便性を高める取組に対しては、回答が多い傾向です。次いで、「働きたい企業があること」27.5%や「教育環境が充実している魅力ある学校があること」25.1%が多く、「水がきれいで自然が豊かであること」25.1%や「治安がよく犯罪が少ないまちであること」25.1%など、雇用や教育、生活安全といった安心して暮らし続けるための取組みに対する回答が多いです。

裾野市が魅力あるまちになるための必要な取組 (3つ選択)



3 市内中学生からの提言

裾野市内の中学校における「総合的な学習の時間」で生徒たちから裾野市に対する提言をいただきました。

提言を行政分野に分け分析すると、観光に関する意見が圧倒的に多く、ロケ地活用・地元資源PR・SNSによる拡散など多角的に提案され、「まちを盛り上げたい」「外から人を呼びたい」という想いをいただきました。

また、都市整備への関心も高く、公園・駅周辺・空き家などに関する提案や広報活動では、若者視点の「見せ方」「魅力発信」について提言をいただきました。

市内中学生からの提言を基に分析した行政課題

順位	行政分野	件数	主な関連ワード
1	観光政策・振興	44件	観光地、観光資源、観光客、PR、イベント誘致
2	都市整備・開発	26件	公園、施設、駅周辺、市街地、商業整備
3	広報・PR戦略	17件	SNS、パンフレット、YouTube、すそのん
4	子育て支援・教育政策	16件	子育て、学校、教育、支援、児童施設
5	環境保全・政策	15件	水質、ごみ、温暖化、再生エネルギー、プラ削減
6	地域振興・市民協働	14件	地元愛、市民参加、交流、ボランティア
7	商業振興・地域ブランド	13件	特産品、グルメ、商業施設、ブランディング
8	福祉政策（高齢・障害含む）	10件	高齢者福祉、デイサービス、生活支援
9	防災政策・安全対策	9件	災害対策、避難所、ハザードマップ
10	スポーツ振興	8件	プール、サイクルセンター、スポーツ

4) 市内小中学生からの提言「子どもミライ議会 2024～すそののミライ予想図～」

市内の小中学校から未来の裾野市への思いをはせて、さまざまな市政への提言をいただきました。提言内容から市の課題を分析しました。(市内小学校 9 校、中学校 5 校から児童・生徒の代表者)

本質的な課題	質問・提言
<ul style="list-style-type: none"> ○自然を生かした公園整備 ○魅力的な屋外の遊び場の創出 ○子どもの健全な成長機会の拡大 ○市内外から集客効果のある施設整備 	<p>私は、体を動かすことが好きなので、アスレチック、特にターザンロープが好きです。アスレチックのある公園は、体を動かすことができるし、友達と集まって遊ぶこともできます。もしかしたら、市外からたくさん人が来るかもしれません。私の提案は、市内の公園にアスレチックを造ることです。市長さん、五竜の滝をジップラインで下ったら楽しいと思いませんか。楽しい公園の整備をよろしく願います。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○子どもを含む市民が、市政に対して提案や要望を伝える場の拡大 ○市民参加型のまちづくりの推進 	<p>私たち子どもは、議会に提案したり要望したりすることはできません。子どもでも大人でももっと私たちの意見を取り入れてほしいな、もっと自由に意見や要望を伝えられるようになるといいなと思っています。私は市民に手紙や往復はがきのようなものを配り、議会で話合っている内容に対して意見を書いて送るという案を考えてみました。子どもが感じていること、大人が感じていることなどを生かしながら、裾野市がこれからさらによくなっていくといいなと思います。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○天候に関わらず市民が交流できる賑わいの場の創出 ○地理的な利便性を生かした若者に対する定住施策の必要性 ○身近な距離での就労・教育の場の提供 	<p>全国的に人口が減っている中で、裾野市も人口が減っています。私の提案は二つあります。一つ目は、大型ショッピングモールの誘致です。子どもが雨でも遊べたり、人々が交流できたりする場所があったらいいなと思います。大型ショッピングモールがあるまちはとてもにぎわっているように思います。二つ目は、通勤通学の新幹線代の補助です。例えば三島駅まで、向田小学校からは車で15分～20分ぐらいです。三島駅から品川駅までは新幹線で45分、東京都内やその近くの大学や職場へ通勤、通学するには約1時間です。新幹線代を補助することで、裾野市から離れてしまう若者が裾野に残ってくれると思います。ぜひ、通勤通学の新幹線代の補助を検討してみてください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○屋外活動に対する熱中症リスクの軽減 ○生活環境の快適性 ○自然と調和した暑さ対策 	<p>最近の夏はとても暑くて、学校の登下校や放課後に外で過ごしているときは、熱中症にならないように水分補給をしたり、日陰で休憩をしたり、自分なりに暑さ対策をしていました。そこで、裾野市に提案したいことがあります。市で現在行っているカーボンニュートラルシティの計画のほかに、人がよく通る場所に植樹をしたり、市民への暑さ対策を考えてみたりするのはどうでしょうか。例えば植樹をすれば、私たち人間はもちろん、ほかの生物や動物などの自然環境にも優しいことだと思います。市では何か暑さ対策について考えたり計画したり、実際にやっていることはありますか。市長さん、人にも自然環境にも優しい暑さ対策を考えてください。</p>

本質的な課題	質問・提言
○廃棄物の減量とエネルギーの循環的な活用施策への提案	<p>私は、銭湯や温水プールなどの施設を建て、ごみを燃やしたときの熱を銭湯やプールの水を温めることに利用することはできないかと考えました。そのようなことに税金を使う計画はありますか。私がこのように考えたのは、道端にごみが落ちているのが気になり、減らしたいと思ったことがきっかけです。4年生の社会科の授業では、美化センターに行き、大量のごみが出ていることも学習しました。ごみを活用して何かに利用することができれば、道端に落ちているごみが減るのではないかと考えたのです。ごみを有効活用することができる上に、市民が楽しむことができる施設が増えるためこのようなことに税金を使うのはどうかと考えました。</p>
○人口減少・高齢化に伴う持続可能な地域社会の形成 ○地域の賑わいと利便性の向上	<p>私が住んでいる千福が丘は自然豊かで公園もたくさんあり、穏やかに生活することができて住みやすいですが、不便なところもあります。住む人も減っていて、これからもっと減っていってしまうのではないかと心配です。不便なことの一つは、お店がないことです。高齢者も増えているので坂の下まで車で買い物に行かなければいけないことは大変です。千福が丘小学校でアンケートを取ったところ、お店があった方がいいという児童がほとんどでした。コンビニエンスストアや小さなお店があるといいなという意見でした。私は、お店がない状況は、裾野市都市計画マスタープランにある良好な居住環境とは言えないのではないかと思います。千福が丘がより住みやすくなるために裾野市として考えていることや計画があれば教えてください。</p>
○天候に関わらず交流できる空間の確保	<p>何でこのような提案をしようと思ったか理由を三つあげます。一つ目の理由は、ゲームセンターを造ることで仲のよい友達とより仲を深めることができると思ったからです。</p> <p>二つ目はゲームセンターを造ることで他校の子と仲よくなれると思ったからです。三つ目は運動ができると思ったからです。ゲームと聞くと、カーレースやシューティングゲームなど座って遊ぶゲームを思い浮かべるとありますが、今はテニスや卓球などといったスポーツもテレビゲームとなり、体を動かしながら遊ぶことができます。たとえゲームでも体を動かすことで体力づくりにもなり、健康に過ごせるはずです。</p>

本質的な課題	質問・提言
<ul style="list-style-type: none"> ○子どもが利用できる公共施設・居場所の確保 ○交流できる空間の確保 ○学習機会の確保 	<p>一つ目は南児童館についてです。南児童館はたくさんの友達が利用していて大好きな場所ですが、突然閉めるという話を聞きました。私も友達も閉めてほしくありません。</p> <p>二つ目は、放課後に学習できる場所が欲しいです。無料の塾があれば、お金がない人も勉強を分かりやすく学べることはとてもいいことだと思うからです。三つ目は、休日に遊べる施設が欲しいです。放課後に友達と行けるようなお店やカフェなどがあればいいと思います。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○子供が安心して利用できる公共空間の確保 ○自然を生かした公園づくり 	<p>僕たちのような子どもが安全に思い切り遊べる公園をぜひ造ってほしいです。クラスみんなでこんな公園があったらいいなという理想の公園を考えてみました。裾野市の自然を生かした遊具があったり、きれいな水を使って小川や噴水で水遊びを楽しめたり、緑を生かして立体迷路を造ったりしたら自然の豊かさをアピールしつつ、みんなが楽しめると思います。屋根つきの休憩所、きれいなトイレも安心して行きたくなる公園に必要なものだと僕たち6年生は考えました。こんな魅力的な公園、裾野市にどうでしょうか。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○拠点（駅周辺）の活性化 ○市民活動と文化発信の場の創出 ○若年層が共感できる魅力発信の仕方 	<p>裾野駅前活性化のために、小中学生の作品などをストリートギャラリーのように展示することを提案します。小中学生の作品を駅前に展示することで、子どもたちの作品を見るために多くの人が駅前を訪れてくれるのではないかと思います。二つ目は、裾野市のよさをアピールするのに、もっとインスタグラムなどの若者がよく見るSNSを活用して情報を発信することです。私は、中学生としてこういうアピールに関わりたいという気持ちがあります。市長さん、ぜひ私のような中学生に裾野市のアピールに関わらせてください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○市民が交流できる場の創出 ○子ども目線の公共施設整備 	<p>子どもミライ議会のために学年で意見交換を行いました。意見の多かった一つ目は、使用していない土地や老朽化した建物を崩して、そこに新たな人が集まりやすい施設を建てて、裾野の活性化を促す必要があるということ。二つ目は子どもの遊ぶ場所が少ないという意見です。市の中心地で市民がリラックスできたり、子どもが遊べる公園、バスケットやフットサル、今はやりのスケートボード、キッチンカーが来たりするような施設があるとよいと考えました。</p> <p>現在、多くの児童・生徒は、市内で遊ぶ場所がない環境に満足していません。裾野市を少しでも豊かにするためには、他地域に負けないまちづくりが必要だと考えます。これからのまちづくりについて、市長の考えを教えてください。</p>

本質的な課題	質問・提言
○教育・防災施設的环境整備 ○移動に対する安全確保	<p>市内の小中学校の体育館にエアコンを設置しませんか。特別教室のほかに体育館にもエアコンを設置していただきたいです。私たち中学生以外の方にもメリットがあります。体育館は地域の方々も使用したり、災害での避難所に指定されたりしているので、被災した心細さも少し和らぐかもしれません。二つ目は市内の街灯の数を増やしませんか。</p> <p>特に通学路や車の通りが少ない狭い道などに重点的に設置していただきたいです。この意見は私だけでなく、市民意識調査の報告書やデジタル目安箱の回答の中にも同じような声がありました。市の方針や具体的な整備計画について質問します。</p>
○教育現場における快適性と 人権意識への対応	<p>私は生徒全体にアンケートで意見を募集した中から質問します。学校に男子更衣室の設置をお願いしたいです。社会では最近、ジェンダー平等や性の多様性を考えようと人権への意識が高まっています。これまで当たり前と生きてきたことも、見直していこうという社会になってきています。そして、私たちの人権意識や人の生き方を考えていく上で、学校の環境による影響は大きいと感じます。裾野市の中学校は、制服の選択の幅が広がり、多様な生き方が認められるようになったという点で、私たちはとてもうれしく感じています。誰もが生きやすい社会をつくっていくきっかけとするためにも、学校に男子更衣室の設置をお願いしたいと考えます。</p>
○自然を生かした公園整備 魅力的な屋外の遊び場の創出 ○子どもの健全な成長機会の 拡大 ○市内外から集客効果のある 施設整備	<p>須山地区はとても環境がよいところですが、岩波駅や裾野駅、市内の中心部や他市町に出る交通手段がないことが悩みです。路線バスがありますが、本数は大変少なく、料金も高いです。親の送迎が頼めるときはよいですが、それができないと本当に困ってしまいます。中学校卒業後の進路選択にも影響が出てしまうと思っています。大型バスではなく小型のバスを走らせるなどの工夫で交通手段を確保できるのでしょうか。須山地区だけでなく市内のあちらこちらで不便な思いをしている人が少なからずいるはずです。交通手段の整備をお願いしたいのですがそのような考えはありますか。</p>

5) 裾野市総合計画策定協議会による「第5次総合計画後期基本計画策定に向けたまちづくりの提案」

市の将来像の実現にむけ、裾野市総合計画策定協議会からいただいた提案から背景・課題をとりまとめました。

課題	提案プロジェクト
安心して楽しく子育てができる環境 こどもの居場所の確保	子育て親育て支援プロジェクト こどもの育ちへの支援、保護者（親）への支援、親育て
地域コミュニティの希薄化	社会の形成者育成プロジェクト 教育を語る場では「社会の形成者の育成」を常に真ん中に置く
裾野市の魅力ある資源の活用	特産物のブランド化プロジェクト ブランド化をしやすい環境づくり、6次産業を推進していく、すそのブランドの中の特別なもの「プレミアムすそのブランド」、ブランド化した魅力をPRする
文化観光資源の発掘・活用とPR	法印（ホウエン）さんの道プロジェクト 村山の修験者の道を巡るコース、自転車でルートをたどる（シェアサイクル）、説明看板の設置、滝や神社を回る仕掛けづくり、オリンピックのロードレースのコースを使い、山梨県や御殿場市を巻き込んでいく
安全な環境づくり 交流できる場の創出	まちも明るく、人も明るくプロジェクト 安全に人が集まってくることができる環境づくり、コミュニティ力の強化、人と人との関係性が良くなり、まちも人も明るくなる、軽水力発電、動く公園
効果的な防災訓練	生き抜くための知恵プロジェクト 防災訓練の刷新、減災に向けた共助・近助の強化
交流の場の創出 地域コミュニティの活性化	地域で笑顔で暮らせるプロジェクト 老若男女が気軽に参加できるイベントの開催、焚火イベントを実施する
必要な医療を受けれる環境の整備	生きるための医療・健康プロジェクト 総合病院のような機能の充実、訪問診療、他事例を参考にした取組
移動手段の確保	自由な足の確保プロジェクト 移動手段を増やしていく取組み、自動運転への期待
賑わいと交流の場の創出 効果的なPR	わくわくするまちづくりプロジェクト 裾野駅前のにぎわいづくり、再開発のためのニーズ調査、地元への働きかけ、裾野駅と岩波駅の差別化
市民が、市政に対して提案や要望を伝える場の拡大 身近に感じられる施策	まちを変えるプロジェクト 投票への意識を高める、投票しやすくする、ついでに投票できる仕掛けづくり、投票への特典をつくる